

各 位

平成 19年5月8日

会 社 名 株式会社キョーリン
代 表 者 代表取締役社長 荻原郁夫
コード番号 4569(東証第一部)
本社所在地 東京都千代田区神田駿河台2-5
問い合わせ先 執行役員 経理部長 伊藤 洋
TEL (03) 3293 - 3420

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18年 11月 7日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 平成19年3月期 連結業績予想数値の修正(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 18年 11月7日 発表)	76,700	6,700	3,600
今回修正予想(B)	77,000	8,600	4,800
増減額(B-A)	300	1,900	1,200
増減率	0.4	28.4	33.3
参考: 杏林製薬(株) 前期(平成18年3月期)実績	74,054	9,465	5,228

注)前期の(株)キョーリンの連結財務諸表は完全子会社である杏林製薬(株)を平成18年3月末日に取得した
ものとして作成いたしました。従いまして、平成18年3月期では損益を取り込むべき会社・関連会社がなかった
ため、連結業績はございません。参考として杏林製薬(株)の連結業績を掲載しております。

2. 理 由

売上高(連結)につきましては、海外新医薬品が導出品の契約に関する一時金収入等により、当初予想を上回り、当期売上高予想は770億円となる見込みです。利益面では売上原価、販売費及び一般管理費が当初予想を下回り、この結果当期経常利益(連結)は86億円、当期純利益(連結)は48億円と当初予想を上回る見込みです。

備 考

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。したがって、実際の業績は、様々な要因によりこれらの予想と異なることがありますことをご承知おき下さい。

補足資料

1. 連結売上高について

単位：百万円

	平成18年3月期 (通期実績)	平成19年3月期 (通期予想)	平成19年3月期 (修正)	前年増減額	予想増減額
売上高	74,054	76,700	77,000	2,946	300
新医薬品	64,281	62,300	62,900	-1,381	600
国内新医薬品	55,705	57,400	57,100	1,395	-300
海外新医薬品	8,575	4,900	5,700	-2,875	800
後発医薬品	3,488	5,900	5,700	2,212	-200
ヘルスケア	5,035	7,300	7,200	2,165	-100
その他	1,248	1,200	1,100	-148	-100

注)前期の(株)キョーリンの連結財務諸表は完全子会社である杏林製薬(株)を平成18年3月末日に取得した
ものとして作成いたしました。従いまして、平成18年3月期では損益を取り込むべき会社・関連会社がなかった
ため、連結業績はございません。参考として杏林製薬(株)の連結業績を掲載しております。

2. 主要製品売上高について

主要製品の通期予想および修正後の予想は、下表の通りとなっております。

単位：億円

通 期	平成18年3月期 (通期実績)	平成19年3月期 (通期予想)	平成19年3月期 (修正)	前年増減額	予想増減額
キプレス	134	146	150	16	4
ガチフロ (国内自販のみ)	25	26	25	0	-1
ムコダイン	199	210	204	5	-6
バクシダール	6	5	6	0	1
ケタス	63	59	58	-5	-1
アプレース	24	20	20	-4	0
ロカルトロール	22	19	19	-3	0
ペンタサ	73	80	80	7	0
ガチフロキサシン(海外)	67	33	32	-35	-1
ノルフロキサシン(海外)	3	3	4	1	1
ミルトン	21	20	21	0	1